

表作成 KIT

バージョンアップガイド

バージョン 1 系 → バージョン 1.0.6

2011 年 3 月 7 日発行



バージョンの確認方法

バージョンアップを適用する前に、現在お使いの表作成 KIT と CMSKIT 本体のバージョンをご確認下さい。

表作成KITのバージョン確認方法

cgi-bin/wcv/extend/table_edit/version.pl ファイルをテキストエディタで開くと、一行目に
\$VERSION = "1.0.5";
のような形式でバージョン番号が記載されています。

CMSKIT本体のバージョン確認方法

設定画面で確認する方法

管理者ユーザでログインして設定画面を開くと、画面下部にバージョンが記載されています。

上記方法で確認できない場合

cgi-bin/wcv/subs/version.pl ファイルをテキストエディタで開くと、一行目に
\$VERSION = "1.0.17";
のような形式でバージョン番号が記載されています。

バージョンアップ手順

バージョン 1 系から バージョン 1.0.6 にバージョンアップする手順は以下のとおりです。

CMSKIT本体のバージョンアップ

表作成 KIT1.0.6 を動作させるには CMSKIT 本体のバージョンが 1.0.10 以降である必要があります。

CMSKIT本体のバージョンアップ

CMSKIT 本体のバージョンアップは、別途 CMSKIT 本体のバージョンアップパッケージとそれに付属しているバージョンアップガイドをご覧ください。

zip解凍

バージョンアップ用の zip ファイル (table_edit_1.0.6_upfrom_1xx.zip) を解凍します。

zip ファイルを解凍すると以下のフォルダ・ファイルがあります。

```
cgi-bin/  
httpdocs/  
└─ _wcv/
```

バックアップ

サーバ上の、cgi-bin/wcv/extend/table_edit/ ディレクトリと、ドキュメントルート/_wcv/table_edit/ ディレクトリをダウンロードします。

ダウンロードしたディレクトリは、万が一の時に元の状態へ戻すのに使用しますので、名前を変えて保存しておいてください。

perlのパスを書き換える

環境に合わせて以下のファイルの 1 行目に記述してある perl のパスを書き換えてください。初期値では「#!/usr/bin/perl --」と記述しています。

```
cgi-bin/wcv/extend/table_edit/table_edit.cgi
```

```
cgi-bin/wcv/extend/table_edit/table_edit_ajax.cgi
```

```
cgi-bin/wcv/extend/table_edit/table_edit_inter.cgi
```

アップロード

cgi-bin/ ディレクトリごと、サーバ上の cgi-bin/ ディレクトリに上書きアップロードします。

※ table_edit ディレクトリ を上書きする形になります。

httpdocs/_wcv/ ディレクトリごと、サーバ上の ドキュメントルート/_wcv/ ディレクトリに上書きアップロードします

※ table_edit ディレクトリ を上書きする形になります。

FTP ソフトによっては、上書き時にパーミッションを変更してしまう場合がありますので、そのオプションは OFF にして下さい。

このファイル (.pdf) と history.txt はサーバにアップロードしないようご注意ください。

不要ファイルの削除

以下のファイルは不要になりますので、サーバから削除してください。

cgi-bin/wcv/extend/table_edit/version.pl

バージョン 1.0.6 からバージョン番号を定義するファイルは別のファイルになるため、上記ファイルは不要になります。

初期設定

拡張メニュー画面から表作成 KIT の環境設定画面を開き、新たに追加されて以下の項目に値を入力して「適用」ボタンをクリックしてください。

- 表の横幅最大値
- セルの横幅最大値

大項目	小項目	値	備考
表の初期サイズ	列数	4	表作成時の初期列数 初期値: 2
	行数	4	表作成時の初期行数 初期値: 4
表の横幅最大値	表の横幅最大値(ピクセル)	800 px	表全体の横幅として設定できる値の最大値
セルの横幅最大値	列の横幅最大値(ピクセル)	200 px	セルの横幅として設定できる値の最大値
表のクラス名	クラス名	<input type="text"/>	クラス名を追加
	クラス別名	<input type="text"/>	クラス別名を追加
	削除	▼選択してください▼	登録されたクラス名データの削除

適用

それぞれの幅の値は、表が挿入されるコンテンツ領域の幅を考慮して決定してください。

完了

以上でバージョンアップは完了です。